



ヴァラエティ・カフェ推進委員会

メンバー紹介



政府広報オンラインで今春、特集が組まれたように、発達障がいや知的障がいなど、発達に「困り感」を持つ子どもの数は10%以上とされています。例えば、自閉症やADHD(注意欠如多動性障がい)といった言葉が注目されていますが、一人ひとりが異なる困り感を抱えています。そのため、保護者や関係者はその理解と支援の情報を求めています、適切な機会が少ないのが現状です。

そこで、有志が集まり、発達障がいの専門家や先輩保護者、成人当事者と懇談できる場「ヴァラエティ・カフェ」を用意することで、その問題を解決したいと考えました。

さまざまな立場の人間が、このヴァラエティ・カフェに関わっています。ここで、賛同者としてこのイベントに協力しているメンバーを紹介します。

入手 千尋 いりて ちひろ

発達よろず相談オフィスしろくま

1976年東京生まれ。作業療法士(OT)。リハビリ養成校入学前に、都下の小・中学校の特別支援学級の介助員及び川崎市のフリースペースのスタッフとして6年間働く。OT資格を得てからは高齢者の現場(訪問・通所)に。しかし、発達障がいの現場を諦められず2011年6月に「オフィスしろくま」を立ち上げ。

「学校の/との問題」相談や「学習支援」「自転車乗り」「靴ひもの結び方」の訪問療育、「フリースクール/大学のオープンキャンパス付き添い」支援まで幅広く活動。要は何でも屋。今日も新しい出会いがあるのを楽しみにしています！

@otshirokuma

Blog

<http://office4690.blogspot.com/>

榎木丸 真子 えのきまる まさこ

株式会社ビジュー 代表

2009年、米国の療育エージェンシーから事業を受け継ぎ、発達障がいのあるきょうだい、家族を持つ臨床家たちとABA、SST、VB、PRT、CBT、学習支援、ペアレントトレーニング、美術指導、音楽指導等を提供する療育エージェンシーを運営。

長女(小4)、次女(小1)の母親です。長女が生後10か月の時に自閉症と診断され、療育を始めました。長女は、3歳時発達指数40でしたが、6歳で発達指数100を超え、普通級に就学、現在も楽しく通っています。「あきらめない、あせらない、がんばりすぎない」「やってみせて、こつこつほめる」「よいところを最大限に伸ばし、苦手なことは、スモールステップ」を大切にしています。

@autismbwy

HP

<http://bewizyou.org/>

Blog

<http://d.hatena.ne.jp/bewizyou/>

冠地 情 かんち じょう

東京都成人発達障害当事者会

「Communication Community」イトコサガシ代表

発達障がいの成人当事者支援に取り組んでいます。コミュニケーションを楽しく試せる居場所、ワークショップや茶話会を通して自分の発達障害特性、可能性に気付ける居場所、さまざまな人たちとコミュニケーションをテーマに安心・気軽に風通し良く交流できる居場所、の実現を目指して活動しています。

【実績】 総イベント数108回。都内19区市、1都2府13県で開催。参加人数は1200人以上(延べ人数)

※当事者の家族、支援者、心理職(学生含む)、療育・教育関係者、ボランティアさん、他当事者会関係者、マスコミ関係者の参加も大歓迎です。

星出 光俊 ほしで みつとし

弁護士。新井・小口・星出法律事務所。東京大学卒。

南 和行 みなみ かずゆき

臨床心理士、コアアクティブコーチ、成人発達障がい者サポーター、ミシガン州立大学卒。



五藤 博義 ごとう ひろよし 【事務局】

レデックス株式会社 代表

学習と認知機能支援を自らの使命と信じ、30年間活動中。「こども脳機能バランサー」を国立成育医療研究センターの医師、専門士と開発。2011年、第1回ソーシャルカンファレンス大賞を受賞。下記メディアにて情報発信中。

t @gotoledex **f** 発達障害 & 知的障害ページ <http://facebook.com/all4variety>

メルマガ 【レデックス通信】 <http://www.ledex.co.jp>

三宮 直也 さんぐう なおや

「ゆいまーるラボ」運営

1972年、新潟県柏崎市生まれ。1997年、東京都立大学大学院(現首都大学東京)工学研究科修了。現在は、東京都練馬区在住。2003年に妻とともに練馬自閉症育児サークル「ゆいまーるラボ」を設立。

発達障がいを抱える2人の息子とともに日々前向きな療育生活をおくっています。現在は、iPhone/iPad/Androidなど情報端末を活用した発達障がい児の学習支援・生活支援に関する活動をおこなっています。職業はフリーランスのプログラマーです。

t @vochkun **Blog** <http://blog.keaton.com/>

武部 美帆 たけべ みほ

「こども、わかもの、ながの」運営

長野県で、県内の子ども・若者支援、親支援の情報を集めたブログ「こども、わかもの、ながの」を運営しています。長野県次世代サポート課とも情報交換をしながら、地域に密着した支援の情報が提供できるよう活動中です。今後は県とのつながりを活かしながら、インターネットの外の普及啓発活動も行っていく予定です。

HP <http://spielplatz.naganoblog.jp/> **E-mail** miimusik8@gmail.com

原 佐知子 はら さちこ 【事務局】

障がい児・者の医療を考える会がじゅまる 事務長 / 大田区自閉症の子を持つ親の会「翼」コーディネーター / 発達障がい児・者を守る会 立ち上げスタッフ

フリーランスにて企画編集・執筆業務を行う。『発達と障がいを考える本1~4』(ミネルヴァ書房)企画編集をきっかけに発達障がい関連の書籍の企画編集に携わる。

『ADHD、アスペルガー症候群、LDかな?と思ったら...』(安原昭博:著 明石書店)『ADHD・アスペ系ママ へんちゃんのポジティブライフ』(笹森理絵:著 明石書店)を企画編集。現在、家族支援にかかわる本を3冊編集・執筆中。

発達障がい児者とその家族が使える情報誌制作を企画。内閣府の社会的企業支援事業に採択され、2012年2月に刊行を目指し活動中です。

t @yunotsubasa

渡辺 由美子 わたなべ ゆみこ

NPOピコピコ 代表理事

自閉症スペクトラム障がいの2児の母、福祉情報技術コーディネーター、障がい者職業生活相談員などの顔もち、昨年12月に神奈川県大和市で「子育て・子どもの生きる力育てる」を支援する施設「うちカフェ・まちスク・びこっと」を立ち上げました。

HP <http://www.pico-pico.org/>

上條 晴夫 かみじょう はるお

東北福祉大学 / NPO法人「授業づくりネットワーク」理事長

小学校教師、児童ノンフィクション作家を経て、現在、大学教員 & ポピュラーライター。教育雑誌「授業づくりネットワーク」の編集代表を務める。現在は「学びのしかけ」プロジェクトを立ち上げて、メールマガジンの編集・発行(ライター40人体制)をしている。「学びのしかけ」プロジェクトの4本柱の一つがインクルージョン教育。ジェンダー、多文化(ダイバーシティ)、発達障害などを視野に入れつつ研究活動を行っている。(4本柱の他の3つは「ワークショップ」「ハイブリッド」「ライフストーリー」である)。個人的には、Facebook・ツイッターでの情報発信に力を入れている。